(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)特許出願公表番号
特表2007-521082
(P2007-521082A)
(43)公表日　平成19年8月2日(2007.8.2)

| (51)Int.Cl. | | F I | | テーマコード（参考） |
|---|---|---|---|---|
| A47C 7/28 | (2006.01) | A47C 7/28 | A | 3J038 |
| F16B 45/00 | (2006.01) | F16B 45/00 | A | |
| A47C 23/14 | (2006.01) | A47C 23/14 | | |

審査請求 有　予備審査請求 有　（全 11 頁）

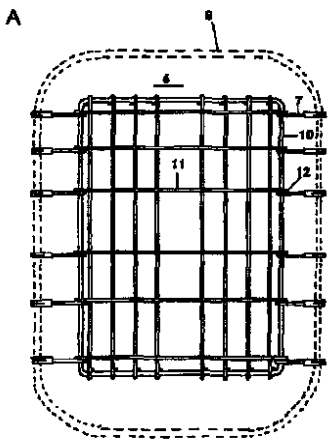
(21)出願番号　特願2006-517823 (P2006-517823)
(86)(22)出願日　平成16年7月1日 (2004.7.1)
(85)翻訳文提出日　平成18年1月18日 (2006.1.18)
(86)国際出願番号　PCT/US2004/021188
(87)国際公開番号　WO2005/005193
(87)国際公開日　平成17年1月20日 (2005.1.20)
(31)優先権主張番号　10/611,545
(32)優先日　平成15年7月1日 (2003.7.1)
(33)優先権主張国　米国 (US)

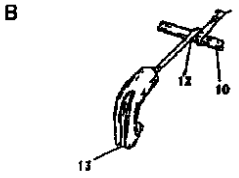
(71)出願人　500039913
エル　アンド　ピー　プロパティ　マネジメント　カンパニー
アメリカ合衆国９０２８０　カリフォルニア州，サウス　ゲイト，ファイアストーン　ブールバード　４０９５
(74)代理人　100079108
弁理士　稲葉　良幸
(74)代理人　100093861
弁理士　大賀　眞司
(74)代理人　100109346
弁理士　大貫　敏史
(72)発明者　カトリー，ピエロ
ベルギー王国，シュピーレ　ビー－８５８７，ドリース　５－７

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ワイヤーアレイ装置用の取付フックおよび組立方法

(57)【要約】
シートフレームに取付け可能なワイヤーアレイのための取付フックが、第１の部分（１４）に沿って長手方向に延びるシーティング部材（２）を有する第１の部分（１４）と、フックの上部に亘りフッキング面の外側に延びるチャンネル（３）を有する第２の部分と、チャンネルを交差し、シーティング部材に平行に延びるフッキング部材（４）とを有する。第１、第２、および第３の部分はフッキング面を画定する。シート組立の方法は、取付ワイヤー（７）を取付フックのワイヤーシーティング部材に通すことによって、ワイヤーアレイを取付フックに連結することからなる。次いでかかるワイヤーは交差する角度に曲げられる。かかるワイヤーが曲げられた後に、取付フックを曲げ部位（９）まで滑動させる。次いで曲げ部位をチャンネル内へ納める。これにより、ワイヤーアレイはいつでもフックを用いてシートフレームに取付けできる。



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ワイヤーシーティング部材を有する第１の部分と、
前記第１の部分と実質的に交差し、開口部を有する第２の部分と、
前記第２の部分と実質的に交差し、前記第１の部分に実質的に平行な第３の部分と、
を備えており、
前記第１および第３の部分は、前記第２の部分の実質的に同じ側に配置される、
取付フック。
【請求項２】
前記ワイヤーシーティング部材が、取付ワイヤーを受け入れるための前記取付フックの前記第１の部分を貫通して長手方向に延びる貫通孔を画定する、
請求項１記載の取付フック。
【請求項３】
前記第３の部分がフッキング部材である、
請求項１記載の取付フック。
【請求項４】
プラスチック製である、
請求項１記載の取付フック。
【請求項５】
前記開口部がチャンネルであり、前記チャンネルは前記第２の部分に沿って長手方向に延びる、
請求項１記載の取付フック。
【請求項６】
前記ワイヤーシーティング部材が、取付ワイヤーを受け入れるための前記取付フックの前記第１の部分に沿って長手方向に延びるチャンネルである、
請求項１記載の取付フック。
【請求項７】
前記開口部が貫通孔であり、前記貫通孔は前記第２の部分を貫通して長手方向に延びる、
請求項１記載の取付フック。
【請求項８】
ポリウレタン、木、ゴム、グラファイト、およびファイバーグラスからなる群より選択される材料からなる、
請求項１記載の取付フック。
【請求項９】
ワイヤーシーティング部材を有する第１の部分と、
第２の部分に沿って長手方向に延びるワイヤーチャンネルを有する第２の部分と、
第３の部分と、
を備えており、
前記第１、第２、および第３の部分は、ワイヤーアレイをシートフレームに保持するためのフックを画定する、
取付フック。
【請求項１０】
取付フックであって、
取付ワイヤーを受け入れるための手段と、
前記取付フックをワイヤーに対して回転させないように保つための手段と、
前記取付フックをシートフレームに取付けた状態に保つための手段と、
を備える取付フック。
【請求項１１】
シートフレームに取付け可能なワイヤーアレイであって、

縁ワイヤーと、前記縁ワイヤーによって作られた構成全体にわたって延びる複数の内部支持ワイヤーとからなるフレックスマット部材と、
前記縁ワイヤーから延びる複数の取付ワイヤーと、
前記取付ワイヤーに取付けた複数の取付フックであって、
ワイヤーシーティング部材を有する第１の部分と、
前記第１の部分と実質的に交差し、開口部を有する第２の部分と、
前記第２の部分と実質的に交差し、前記第１の部分に実質的に平行な第３の部分とを含み、
前記第１および第３の部分は前記第２の部分の実質的に同じ側に配置される取付フックと、
を備えるワイヤーアレイ。
【請求項１２】
前記取付フックの前記開口部がチャンネルであり、前記チャンネルは前記第２の部分に沿って長手方向に延びる、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１３】
前記取付フックの前記開口部が貫通孔であり、前記貫通孔は前記第２の部分を貫通して長手方向に延びる、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１４】
前記取付フックの前記ワイヤーシーティング部材が、前記取付ワイヤーを受け入れるための前記取付フックの前記第１の部分を貫通して長手方向に延びる貫通孔を画定する部分を有する、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１５】
前記取付フックの前記第３の部分がフッキング部材である、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１６】
前記取付フックの前記ワイヤーシーティング部材が、前記取付ワイヤーを受け入れるための前記取付フックの前記第１の部分に沿って長手方向に延びるチャンネルである、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１７】
ベッドマットレスの支持要素である、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１８】
前記取付フックが、ポリウレタン、木、ゴム、グラファイト、ファイバーグラス、およびプラスチックからなる群より選択される材料からなる、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項１９】
前記取付ワイヤーが、所定の角度で前記縁ワイヤーから延びる、
請求項１１記載のワイヤーアレイ。
【請求項２０】
シートフレームに取付けるよう構成されたワイヤーアレイを組立てる方法であって、
取付ワイヤーを取付フックのワイヤーシーティング部材に挿入する工程と、
前記取付フックをワイヤー端から離すように滑動させる工程と、
前記ワイヤー端を交差する角度に曲げて、ワイヤー曲げを形成する工程と、
前記ワイヤー曲げを前記取付フックのチャンネルに嵌める工程と、
を備える方法。
【請求項２１】
取付ワイヤーをシートフレームに係合するように構成する工程をさらに備える、

請求項２０記載の方法。
【請求項２２】
取付フックをシートフレームに係合するように構成する工程をさらに備える、
請求項２０記載の方法。
【請求項２３】
前記挿入する工程に先だって、取付ワイヤーを所定の角度に曲げる工程をさらに備える、
請求項２０記載の方法。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
関連出願の相互参照
なし。
連邦政府の援助による研究または開発に関する声明
適用なし。
補遺
適用なし。
【０００２】
発明の背景
１．発明の分野
本発明は、概してシート組立プロセスに関し、特に自動車用シート組立で用いられるシートサスペンション取付プロセスの改良に関する。
【背景技術】
【０００３】
２．関連技術
シート製造の分野においてよくある問題は、シーティングサスペンションとシートフレームの連結によって生じる騒音および振動である。通常、シートを組み立てる際、サスペンションワイヤーアレイは、連結ワイヤーをフック状に曲げることによってシートフレームに連結される。次いでこれらのフックをシートフレームに引っ掛ける。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
しかしながら、この型の連結では、騒音および振動の問題は、特に力がシートに及ぼされる場合にこすれ合う２つの金属から生じ得る。この問題を解決するために、先行技術が、連結ワイヤーの表面をプラスチックまたはゴム型のコーティングで覆うことを教示する。このコーティングは騒音および振動の問題を防ぐのに役立つ。しかしながら、このコーティングを使用する際に、このプロセスを完了させるためにワイヤーアレイを現場から離れて運送するのにかなり多くの時間および資金がしばしば費やされる。騒音および振動の問題を軽減できるように、ワイヤーサスペンションアレイをシートフレームに費用をかけずに、より速く取付ける技術が必要である。
【課題を解決するための手段】
【０００５】
発明の概要
本発明は、上記の問題点に鑑みてなされた。プラスチック製取付フックを用いたサスペンションワイヤーアレイ・アセンブリが騒音および振動の問題を軽減し、しかも素早く低コストで軽減する。
【０００６】
本発明はプラスチック製の取付フックからなる。これらの取付フックは、取付ワイヤーに連結するためのワイヤーシーティング部材を有する第１の部分を特徴として備えている。示される実施形態では、ワイヤーシーティング部材は貫通孔である。ワイヤーシートの

他の実施形態として、チャンネル、溝、またはストラップなどが可能である。取付フックの第２の部分がシーティング部材を交差して延びている。開口部が、取付フックの上部に沿って、第２の部分の全長に延びている。好ましい実施形態では、この開口部はチャンネルである。開口部は交差方向に湾曲した取付ワイヤー端を受け入れて、フックを回転しない固定位置に保つ。取付フックの第３の部分はフッキング部材を含む。

【０００７】

この取付フックはシート組立プロセスでワイヤーアレイに連結して使用され得る。ワイヤーアレイは頑丈な縁ワイヤーによって画定される「フレックスマット」部材から成り、横および／または縦の内部支持ワイヤーが縁ワイヤーによって作られる縁の全体にわたって交差して延びる。取付ワイヤーは、ある間隔で縁ワイヤーから延び、フレックスマット部材のシートフレームへの連結を可能にする。

【０００８】

本発明はまた、前述の取付フックを用いてワイヤーアレイをシートフレームに取付けるプロセスを含む。ワイヤーアレイがシートフレームに取付けるために準備されているとき、プラスチック製取付フックが取付ワイヤーに配置される。ワイヤーは、フックの第１の部分に沿って延びるワイヤーシーティング貫通孔に挿入される。ワイヤーがこの穴に挿入された後、プラスチック製取付フックがワイヤーアレイの方向であって、ワイヤー端から離れる方向に動かす。次いでワイヤーは交差する角度に曲げられて、ワイヤー曲げを形成する。プラスチック製取付フックをアレイ近傍位置からこの曲げへ移動させる。ワイヤー曲げはフックが取付ワイヤーから外れるのを防止する。曲げの方向は、例えばワイヤーアレイの面に垂直などの、ワイヤーアレイを取付けるために有用であるように選択される。

【０００９】

取付フックはまたフックの上部に開口部またはチャンネルを特徴として備えている。曲がったワイヤーがチャンネル内に定置される。チャンネルはワイヤー曲げがフックと同面になるのを可能にし、フックがワイヤーを中心に回転するのを防止する。フックをワイヤー曲げまで滑動させ、ワイヤー曲げをチャンネルに挿入した後、フックをシートフレーム構造に固定する。プラスチック製取付フックを用いることで、上述の方法と同じフッキング機能を提供しながら、騒音および振動の問題を防ぐことができる。さらに、この取付プロセスの使用は、上述のコーティングのような解決策よりも費用のかからない簡単なシート組み立て方法を提供する。

【００１０】

本発明のもう１つの特徴は、このプロセスおよびフックアセンブリをいくつかのシートモデルおよびサイズで使用する能力である。取付フックを取付ワイヤーに配置する前に、取付ワイヤーを適当な長さおよび構成に切断または適合させることによって、個々のシートの様々なサイズ要求に適合させることができる。その点から、次いで取付フックを短くした取付ワイヤーに配置して、上述のようにプロセスを続ける。

【００１１】

この取付フックとともにワイヤーアレイを用いる取付プロセスは、実質的にどんな型のシート組立プロセスででも使用できる。個々の取付フックはまたどんな取付プロセスでも使用されることが可能であり、ワイヤーアレイとの使用、またはシート組立プロセスに限定されない。取付フックと組み合わせたワイヤーアレイの主な使用目的は、自動車用シート製造とされているが、ベッドマットレスの支持要素のような他の目的にも使用され得る。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１２】

以下、本発明のさらなる特徴および利点、ならびに本発明の様々な実施形態の構造および作用について添付の図面を参照しながら詳細に説明する。

【００１３】

本明細書に組み込まれその一部をなす添付図面は、本発明の実施形態を示し、それらについての説明とともに、本発明の原理を説明するものである。

【００１４】
好ましい実施形態の詳細な説明
同様の参照符号が同様の要素を示す添付図面を参照すると、図１～３は取付フックを示す。図に見られるように、フック１は、フックの第１の部分またはシャフト１４を長手方向に延びるワイヤーシーティング部材２を有する。示される実施形態では、ワイヤーシーティング部材２は貫通孔である。このワイヤーシーティング部材２は、取付ワイヤー７を取付フック１に連結するために使用される。この部材により、取付フックと取付ワイヤーとが強固に連結すると同時に、さらにフックが取付ワイヤーに沿って滑動することができる。この実施形態は貫通孔としてのワイヤーシーティング部材を特徴として備えているが、フックとワイヤーとの連結状態を保ちながらもなお滑動を可能にする限り、いかなる実施形態でもよい。この部材の他の実施形態として、チャンネルまたは溝などが可能である。
【００１５】
第２の特徴は取付フック１の第２の部分の下側のフッキング面５である。フッキング面５は湾曲していてもよい。このフッキング面５は、取付フック１がシートフレーム８に係合する面である。フック１の上側をチャンネル３が延び、ワイヤーシーティング部材２と交差し、またフッキング面５の外側に延びる。このチャンネル３は、ワイヤー曲げ９がチャンネル３内に配置された後、取付フック１が取付ワイヤー７を中心に回転するのを防止する。フックのこの部分はチャンネルに限定されない。取付ワイヤーの湾曲した交差ワイヤー端を受け入れることが可能であり、かつフックを回転させずに保つ限り、いかなる実施形態でもよい。取付フックのこの部分の他の実施形態として、貫通孔またはストラップなどが可能である。
【００１６】
最後に、第３の部分は、チャンネル３を交差し、ワイヤーシーティング部材２と平行に延びるフッキング部材４である。圧力がワイヤーアレイ６に加えられる場合に、フッキング部材４は、取付フック１がシートフレーム８から偶然に離脱するのを防止する。フッキング部材４は、チャンネル３およびフッキング面５によってワイヤーシーティング部材２に連結される。
【００１７】
図４は本発明で用いるワイヤーアレイ６を示す。ワイヤーアレイ６は、頑丈な外縁ワイヤー１０によって画定される「フレックスマット」部材と、縁ワイヤーによって形成される形状構成の全体にわたって交差して延びる複数の内部支持ワイヤー１１とからなる。内部ワイヤー１１は最大の乗員支持をシートに与えるような形状構成で組立てられる。取付ワイヤー７は、縁ワイヤー１０に沿ってある間隔でワイヤーアレイ６から延び、シートフレーム８に連結する。これらの取付ワイヤーは、取付プロセスでの使用に適合させるために、所定の角度で曲げてワイヤーアレイから延びるようにしてもよい。これはまた、自動車用シート製造以外の分野におけるワイヤーアレイのより多様な利用を可能にする。取付ワイヤー７の端部にワイヤー端１３がある。取付フック１が取付ワイヤー７から外れるのを防止するように、これらのワイヤー端１３は最終的に取付プロセスで交差する角度に曲げられる。
【００１８】
図５～７は、取付フックを用いてワイヤーアレイを取付ける方法の段階を示す。チャンネル３をワイヤーアレイ６から離れた方向に向けた状態で、取付ワイヤー７をワイヤーシーティング部材２に挿入する。取付フック１を取付ワイヤー７に沿ってワイヤーアレイ６の縁ワイヤー１０近傍の位置まで滑動させる。次に、取付ワイヤー７のワイヤー端１３を交差する角度に曲げ、ワイヤー曲げ９を形成する。次いで取付フック１をワイヤー曲げ９まで滑動させ、ワイヤー曲げ９をチャンネル３内に納める。全ての取付ワイヤー７にフックが取付けられると、ワイヤーアレイ６はいつでもシートフレーム８に装着できる。
【００１９】
上記に鑑み、本発明のいくつかの利点が実現および達成されることが分かるはずである

。取付フック付きワイヤーアレイおよび取付プロセスはどんなシート組立システムでも使用され得る。ワイヤーアレイを様々なサイズおよびモデルのシートに適合させるためには、単に取付ワイヤーを適当な長さに切断すればよく、その後、取付プロセスを上述のように続けて行えばよい。

【００２０】

上記実施形態は、本発明の原理およびその実用的応用を最適に説明し、これにより、当業者が本発明を様々な実施形態において、また、意図された特定の用途に応じた様々な変形を用いてうまく利用できるように選定され記載されたものである。

【００２１】

本明細書に記載され説明された構造および方法は、本発明の範囲を逸脱することなく、種々の変形が可能であるので、上記の記載に含まれる、あるいは添付図面に示される事項は、全て、限定ではなく例示として解釈される。例えば、取付フックは任意の材料から作られ得る。本発明はプラスチック製取付フックだけの使用に限定されない。金属と金属の連結を低減または排除するいかなる材料でもよい。かかる材料は、ポリウレタン、木、ゴム、グラファイト、またはファイバーグラスを含むことがある。同様に、縁ワイヤーおよび内部支持ワイヤーは、ポリウレタン、木、ゴム、グラファイト、ナイロン、布、ファイバーグラス、または金属を含むが、それらに限定されない様々な材料から作られ得る。ワイヤーアレイはまた、外部縁ワイヤーおよび内部支持ワイヤーがある限り、任意の形状をとることができる。本発明は図面に示す支持ワイヤーの設計に限定されずに、どんな形状構成もとることができる。したがって、本発明の範囲は、上記の例示的な実施形態のいずれによっても限定されるべきではなく、以下の添付の請求項およびその均等物に従ってのみ定義されるべきである。

【図面の簡単な説明】

【００２２】

【図１】取付フックの斜側面図である。

【図２】取付フックの斜上面図である。

【図３】取付フックの底面図である。

【図４】取付プロセスで用いるワイヤーアレイである。

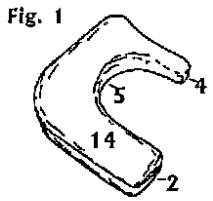
【図５Ａ】組立中の取付フックである。

【図５Ｂ】組立中の取付ワイヤーおよび取付フックである。

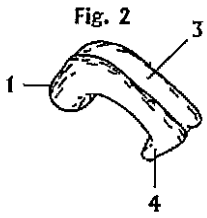
【図６】組立中の後の時間での取付ワイヤーおよび取付フックである。

【図７】ワイヤー曲げがチャンネル内に納められた取付フックである。

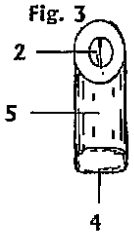
【図１】

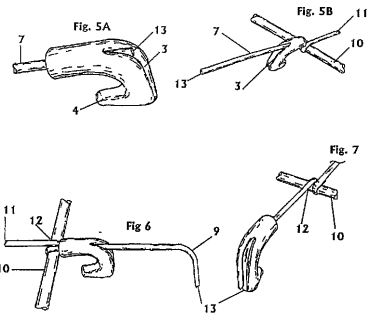

Fig. 1
4
5
14
2

【図２】

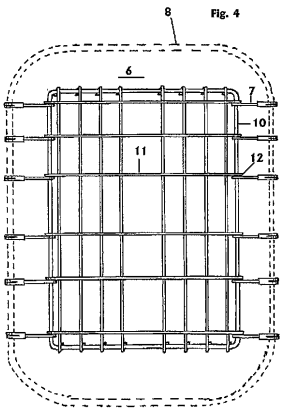

Fig. 2
3
1
4

【図３】


Fig. 3
2
5
4


Fig. 5A
7
13
3
4
Fig. 5B
11
7
10
13
3
Fig. 7
11
12
Fig 6
9
10
12
10
13

【図４】


8
Fig. 4
6
7
10
11
12

【国際調査報告】

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No
PCT/US2004/021188

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
IPC 7 B60N2/72 F16B45/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
IPC 7 B60N F16B A47C

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)
EPO-Internal, WPI Data, PAJ

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

| Category ° | Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages | Relevant to claim No. |
|---|---|---|
| A | US 3 175 269 A (NEAL WILLIS WILBUR ET AL)<br>30 March 1965 (1965-03-30)<br>figure 7 | 1,9-11 |
| A | FR 1 474 835 A (FAURE BERTRAND ETS)<br>31 March 1967 (1967-03-31)<br>figures 2,5 | 1,9-11,<br>20 |
| A | US 3 669 498 A (MEYERS JOHN S ET AL)<br>13 June 1972 (1972-06-13)<br>figure 3 | 1,9-11,<br>20 |
| A | US 5 207 404 A (REINHARD TIMOTHY)<br>4 May 1993 (1993-05-04)<br>figure 21 | 1 |

☐ Further documents are listed in the continuation of box C.

☒ Patent family members are listed in annex.

° Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.

"&" document member of the same patent family

| Date of the actual completion of the international search | Date of mailing of the international search report |
|---|---|
| 26 October 2004 | 05/11/2004 |

| Name and mailing address of the ISA | Authorized officer |
|---|---|
| European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2<br>NL- 2280 HV Rijswijk<br>Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl,<br>Fax: (+31-70) 340-3016 | Pétiaud, A |

1

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2004)

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International Application No
PCT/US2004/021188

| Patent document cited in search report | | Publication date | Patent family member(s) | | Publication date |
|---|---|---|---|---|---|
| US 3175269 | A | 30-03-1965 | NONE | | |
| FR 1474835 | A | 31-03-1967 | BE | 690369 A | 02-05-1967 |
| | | | DE | 1529507 A1 | 18-12-1969 |
| | | | GB | 1161251 A | 13-08-1969 |
| | | | LU | 52748 A1 | 06-03-1967 |
| | | | NL | 6700399 A | 12-07-1967 |
| US 3669498 | A | 13-06-1972 | NONE | | |
| US 5207404 | A | 04-05-1993 | US | 4964602 A | 23-10-1990 |

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LS,MW,MZ,NA,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HU,IE,IT,LU,MC,NL,PL,PT,RO,SE,SI,SK,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KP,KR,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MN,MW,MX,MZ,NA,NI,NO,NZ,OM,PG,PH,PL,PT,RO,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SY,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,YU,ZA,ZM,ZW

(72)発明者 パッティン, ジョー
ベルギー王国, ゲルウェ ビー－８９２４, ドロジェンブルードストラート １４

Ｆターム(参考) 3J038 AA01 BA01 BA13 BA14 BB07